



「熊野川」 キヤノン IXY D5

写真・上



世界の四大文明は、川からはじまった。日本もかり。川は、人々の生活そのものであった。僕らの原点は、そこにある。

時は流れても、流されない何かがある。そこにある。

それを探しに、僕は川を下る。

ときに激しく、ときに優しく、熊野の流れはさまざまな貌で僕らを歓迎してくれた。

(経済学部3年、山田怜II探検部主将)

表紙・絵



桜に憧れている。桜になりたいのだ。僕は。鉄みたいなこの花びらを綺麗な桃色にしたい。背丈をいっぱい伸ばしたい。背が高ければ僕だってあの桜のように……。

そんな愚痴を垂れていたら、神様が言いました。

「ばかもの。桜を吹き散らす、風のようにになりなさい！」

(商学部2年、川瀬雅人II美術倶楽部CA TS)